

東証一部(証券コード 6848)

機関投資家向け会社説明会

東亜ディーケーケー株式会社

平成29年12月4日

代表取締役社長 高橋俊夫

- 1. 会社概要**
- 2. 平成29年度上期(平成30年3月期
第2四半期)実績及び通期業績予想**
- 3. 事業進捗(トピックス)**

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。
本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。
比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

「水・大気・ガス・医療」分野の総合計測機器メーカー TOA DKK

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに
地球環境保全と豊かで人にやさしい
社会環境の実現に貢献します。

概要

代表取締役社長： 高橋 俊夫

所在地： 東京都新宿区高田馬場一丁目

設立： 昭和19年9月

資本金： 18億4,248万1千円

従業員数： 連結 609名 単独 346名

事業所：
▶ 狭山市：狭山テクニカルセンター・
開発研究センター・
医療関連機器生産棟
▶ 東大和市：東京エンジニアリング
センター

営業拠点： 国内13拠点

連結子会社： 国内6社

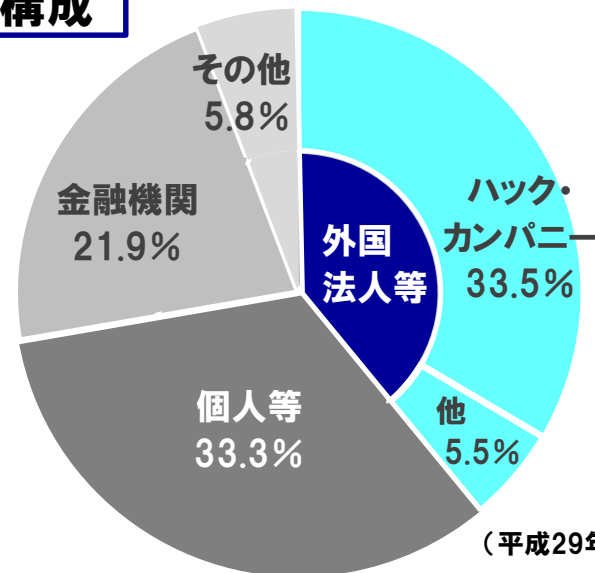
略歴

平成12年 東亜電波工業と電気化学計器が
合併し、東亜ディーケーケー 誕生
平成17年 米国HACH(ハック)と業務・資本
提携

平成25年 東証第一部指定銘柄

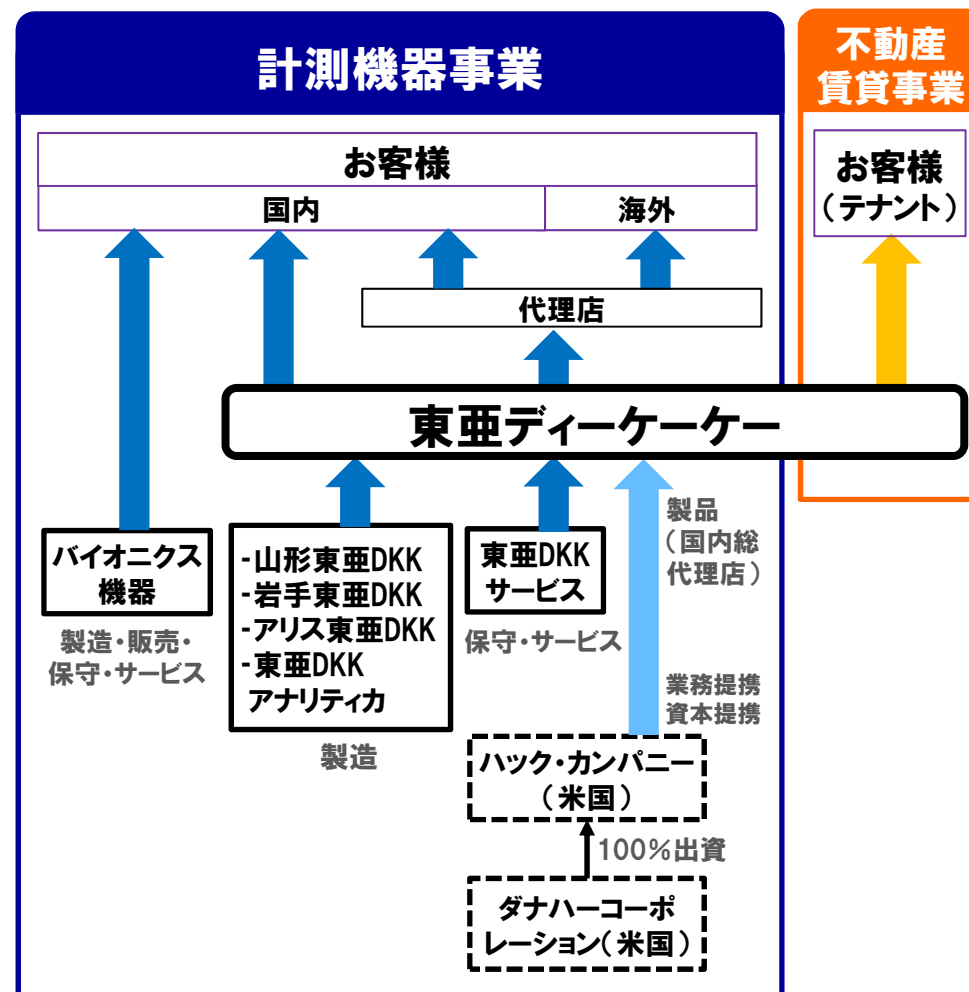
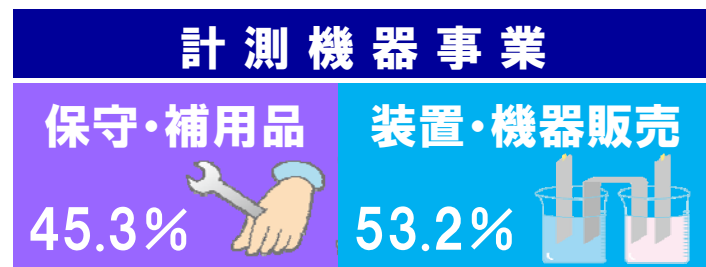
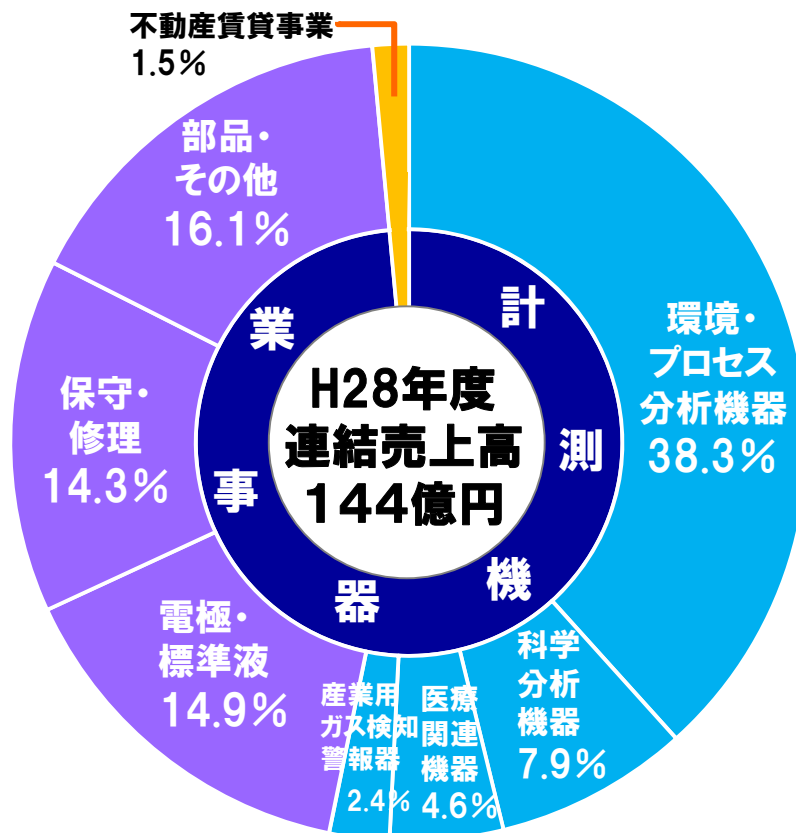
平成26年 創立70周年

株主構成



(平成29年9月末現在)

売上構成と事業系統



当社の強みと計測機器の用途分野



当社の強み

- 創立以来のpH計、電気伝導率計などの保有技術は幅広い用途に対応
- 官公庁から幅広い業種の企業とお取引
- 開発・製造・販売からアフターサービス(保守・修理)までの一貫体制

水	大気	ガス	医療
環境・プロセス分析機器  水道水用水質自動測定装置  pH計変換器  電気伝導率計  油膜検知器  全窒素全りん計	 PM2.5測定装置 国内シェアNO.1  大気SO ₂ SPM測定装置	産業用ガス検知警報器 	医療関連機器  透析用薬剤溶解装置  NEW エンドキシン計
科学分析機器  ラボ用水質計  ポータブル用水質計			

1. 会社概要

2. 平成29年度上期(平成30年3月期 第2四半期)実績及び通期業績予想

3. 事業進捗(トピックス)

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。
本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。
比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

平成29年度上期実績サマリー



- ➡ 売上高は国内・海外ともに好調に推移し増収
- ➡ 収益は売上高の増加とコスト削減により増益
- ➡ 単月黒字化:平成21年9月以降 **8年1ヵ月=97**連勝中

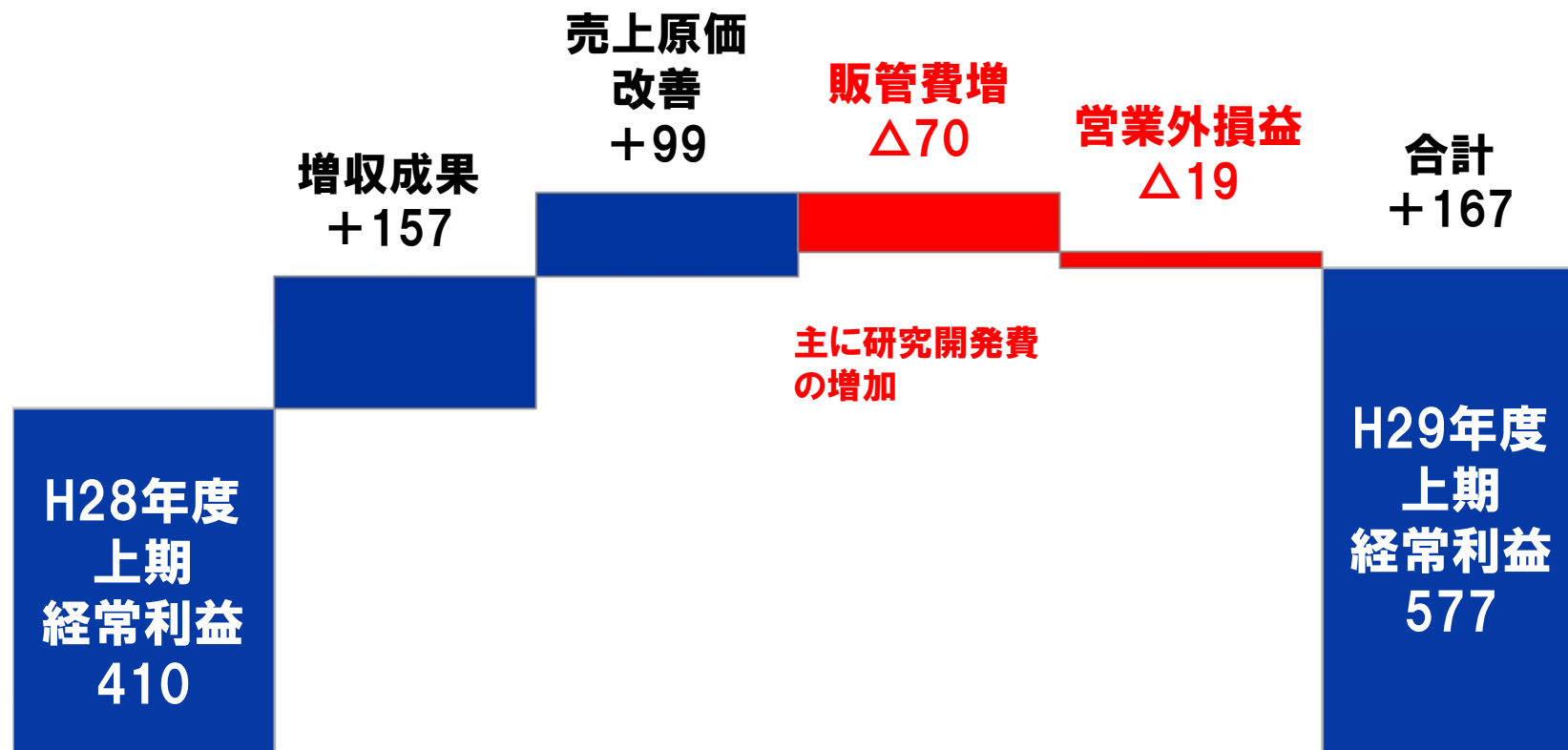
(単位:百万円)

	H28年度 上期実績	H29年度 上期計画 (5月9日公表)	H29年度 上期実績 (10月31日公表)	前年同期比増減	
				金額	率
計測機器事業	6,268		6,648	+379	6.1%
不動産賃貸事業	108		131	+23	21.4%
売上高	6,377	6,600	6,779	+402	6.3%
営業利益	361	430	548	+187	51.9%
経常利益	410	440	577	+167	40.8%
四半期純利益	234	250	358	+123	52.7%

利益増減分析(前年同期比)



(単位:百万円)



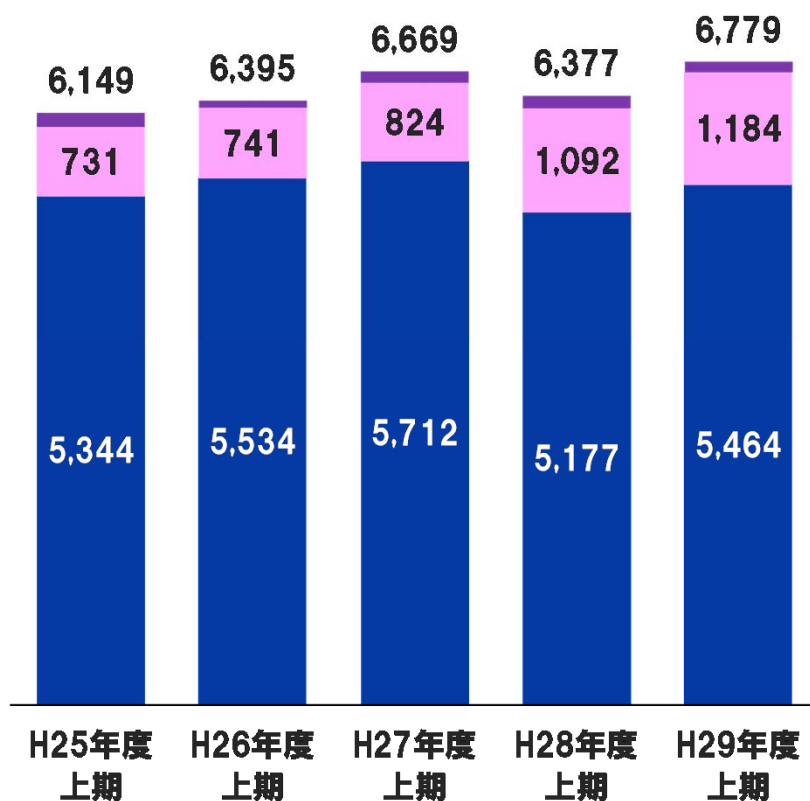
国別売上高推移



(単位:百万円)

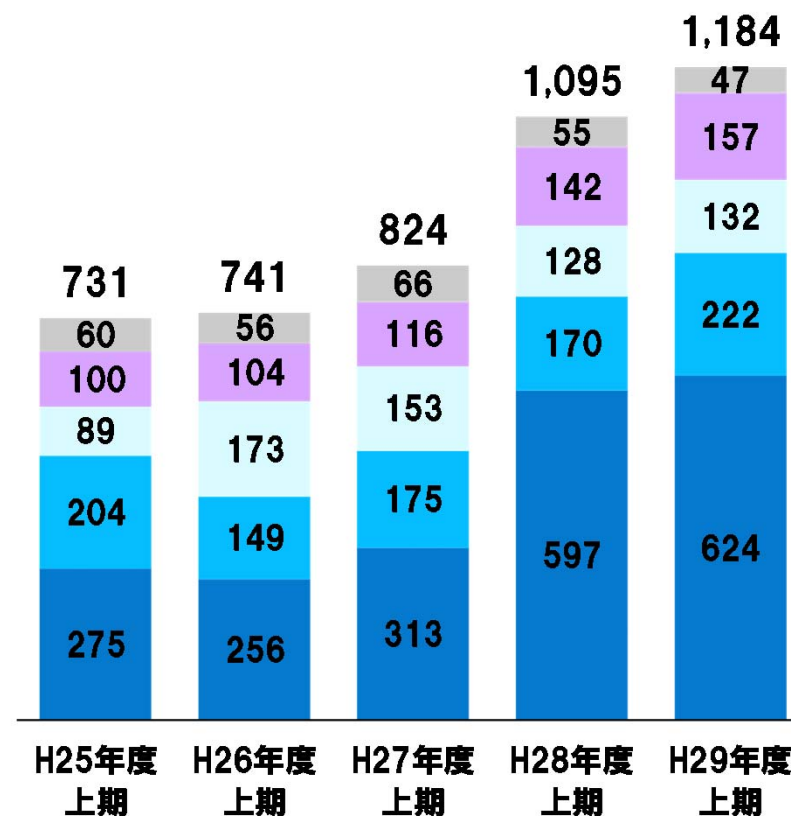
国内外の売上高

- (計測機器)国内売上
- (計測機器)海外売上
- 不動産賃貸



海外の国別売上高

- 中国
- 韓国
- 台湾
- その他のアジア
- その他

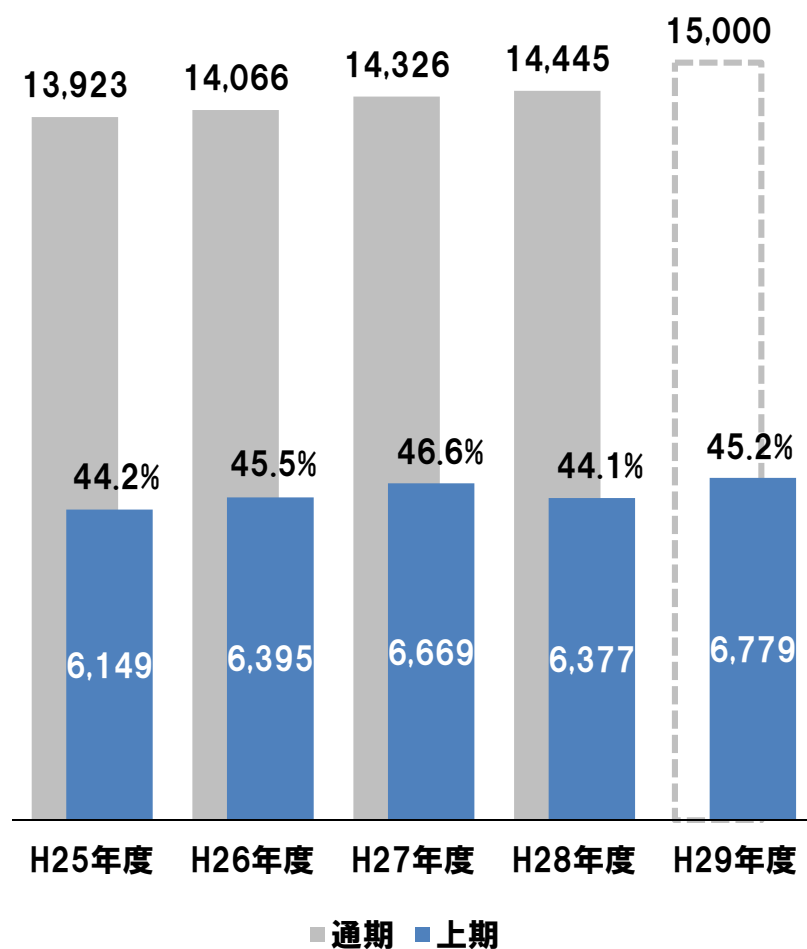


上期進捗率推移

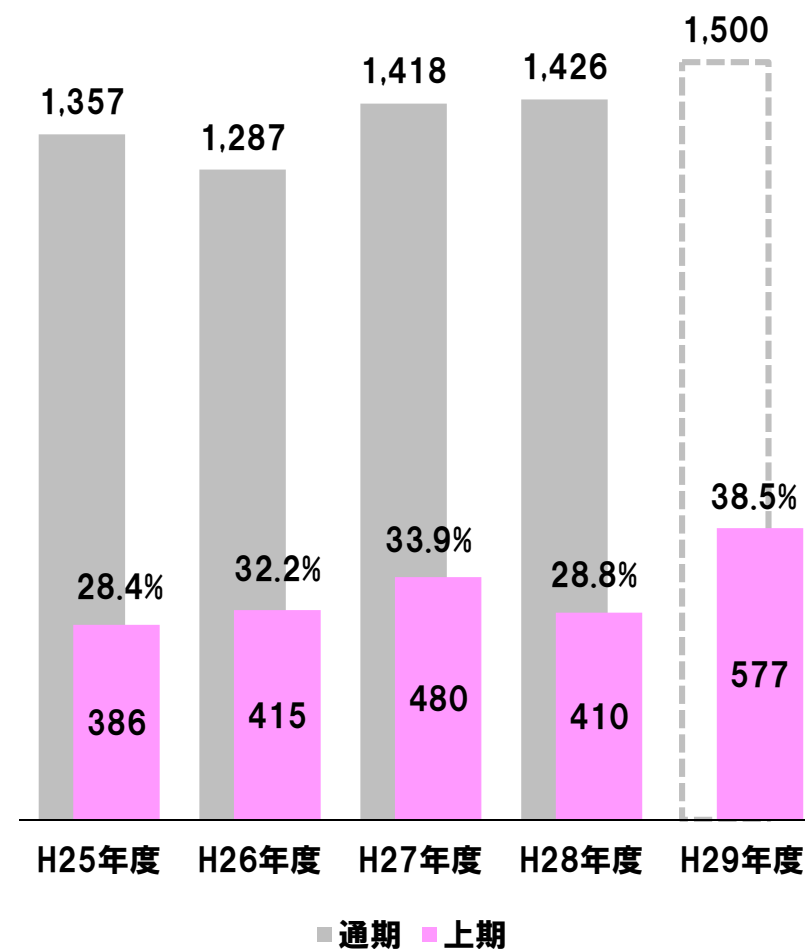


(単位:百万円)

売上高



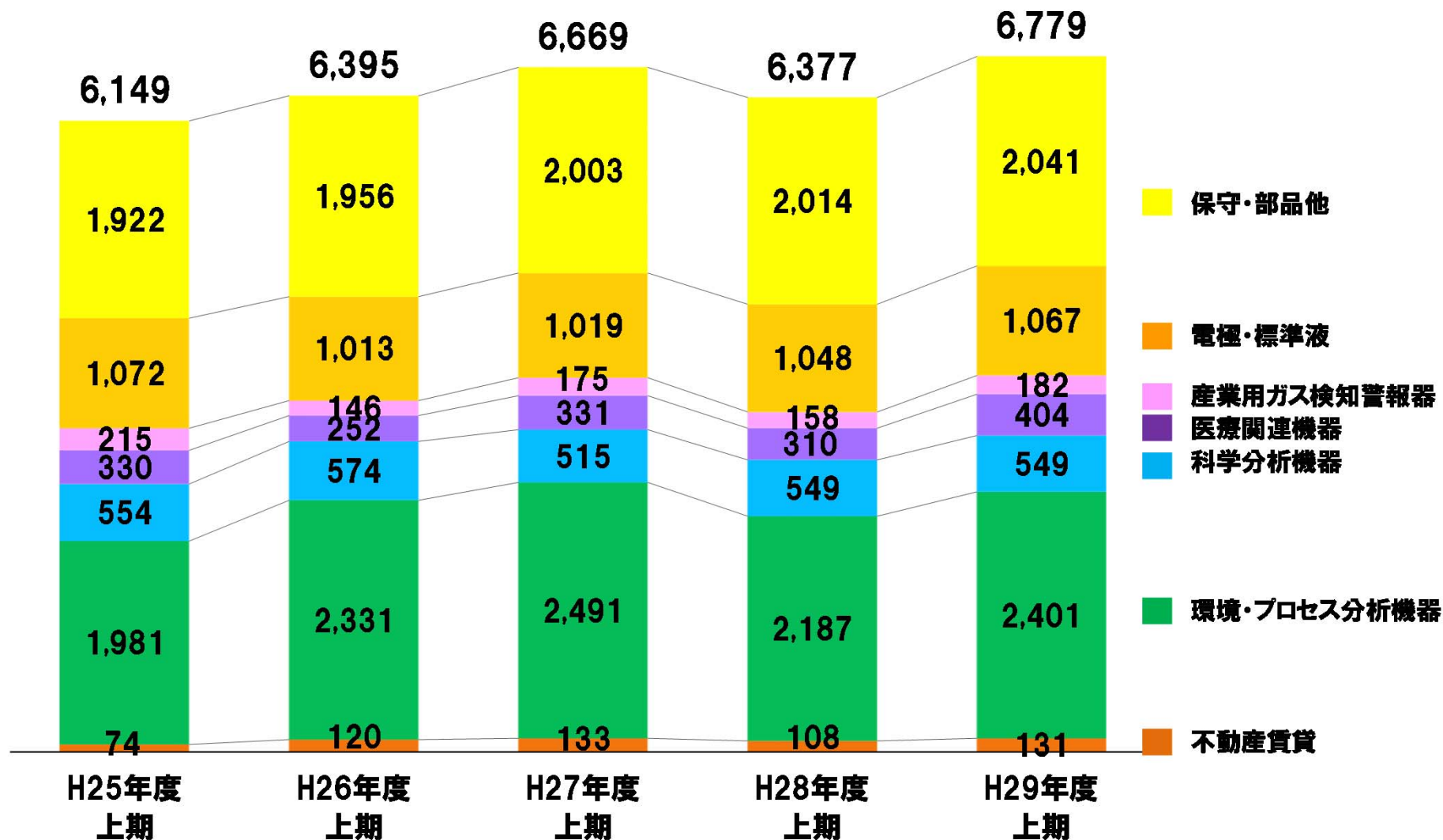
経常利益



分野別売上高構成推移

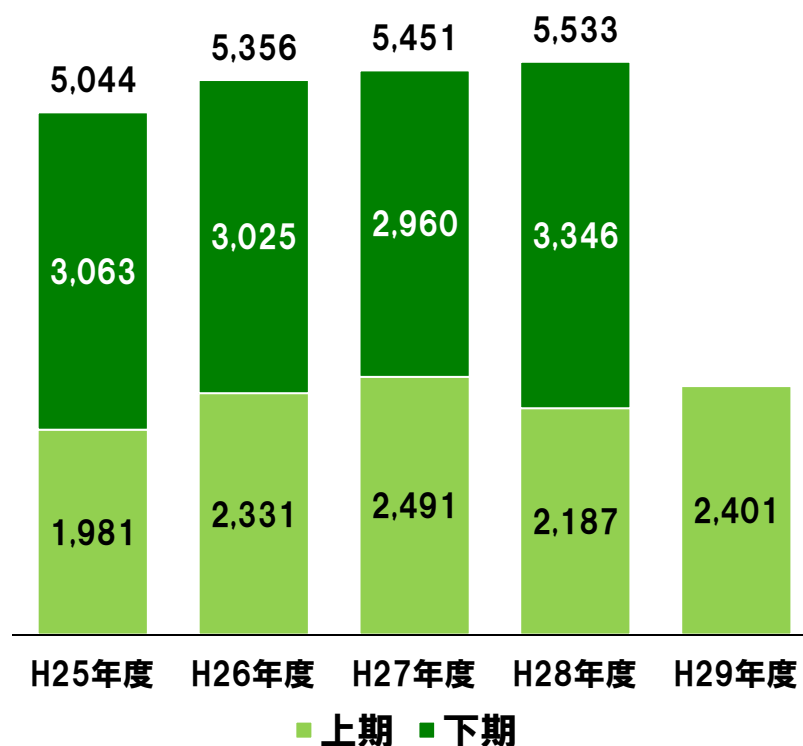


(単位:百万円)



環境・プロセス分析機器売上高

(単位:百万円)



前年同期比

(H28年度上期 vs H29年度上期)

+9.8%

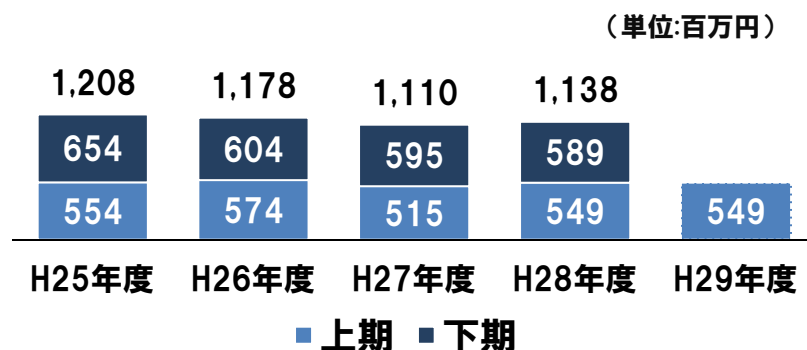
水

- 国内: 市場全体の需要回復を追い風に売上増加
- 海外: 中国・韓国向け環境用水質分析計が好調
- 👉 国内は更新需要を含む全体の回復基調に併せて拡販を強化
- 👉 海外の旺盛な需要に対応

大気

- 国内: 新設需要は一巡し、更新受注でシェアはアップするも売上は減少
- 👉 引き続き国内の更新需要の獲得と、中国・韓国の環境大気市場の開拓・受注獲得に注力

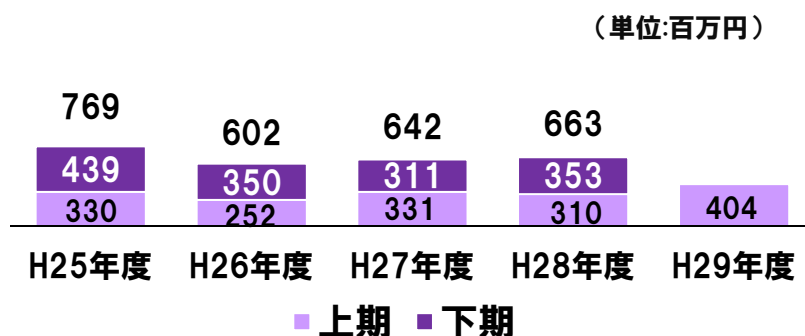
科学分析機器売上高



■ 前年同期比 +0.1%
(H28年度上期 vs H29年度上期)

- ラボ用新製品(Xシリーズ)は好調
- ☞ キャンペーンや代理店訪問の展開で販促を図る

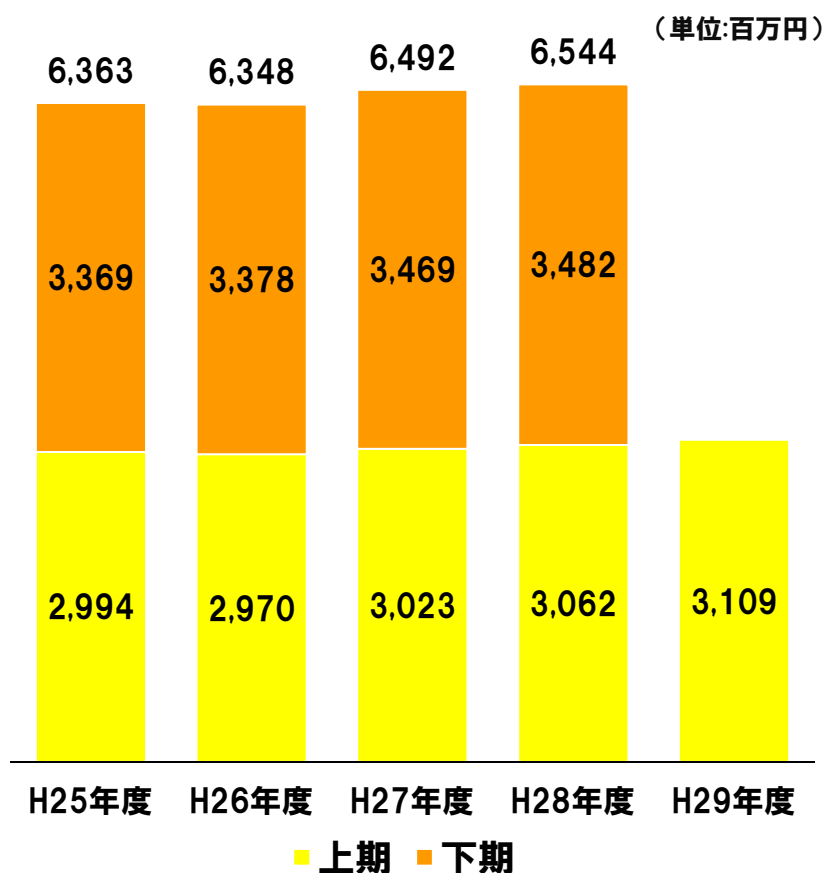
医療関連機器売上高



■ 前年同期比 +30.3%
(H28年度上期 vs H29年度上期)

- 大手医療機器メーカーの受注拡大と生産委託開始により増加
- ☞ 新生産棟が10月に稼働し、さらなる増産へ

保守・補用品売上高



■ 電極・標準液

前年同期比 **+1.8%**
(H28年度上期 vs H29年度上期)

■ 保守・修理

前年同期比 **△0.3%**
(H28年度上期 vs H29年度上期)

■ 部品・その他

前年同期比 **+3.0%**
(H28年度上期 vs H29年度上期)

- 予算の圧縮傾向が見られるものの、全体では前年同期比1.5%増
- 👉 保守・点検等の技術サービス事業の拡大を促進

平成29年度通期業績予想(修正なし)



- 世界的に環境保全と医療関連に関する需要は高い
(環境計測)国内:更新需要の獲得と市場回復に伴う受注推進
海外:中国等アジア地区に積極的な営業活動推進
(医療関連計測)大手医療機器メーカーへの長期安定供給見込み
- 医療関連機器の新生産棟の償却費負担、その他諸経費増も発生するも、経営改革の推進により一定の利益を確保

(単位:百万円)

	H28年度 実績	H29年度 予想	前期比	
			金額	増減率
売上高	14,445	15,000	554	3.8%
営業利益	1,365	1,470	104	7.7%
経常利益	1,426	1,500	73	5.1%
当期純利益	1,226	1,000	△226	△18.5%

特別利益(賃貸用不動産売却益)338百万円

1. 会社概要
2. 平成29年度上期(平成30年3月期
第2四半期)実績及び通期業績予想
3. 事業進捗(トピックス)

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。
本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。
比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

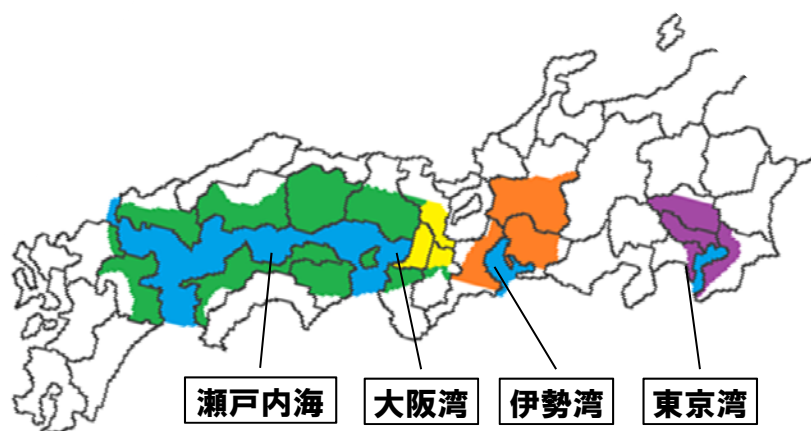
● 第5次水質総量規制*の更新需要に対応

*閉鎖海域で排出される有機汚濁物質の総量を規制する制度。

第5次総量規制では、従来のCOD(化学的酸素要求量)に加え、新たに窒素・りんが規制の対象となった。

適用日:H14年10月1日、目標年度:H16年度

水質総量規制の指定水域および指定地域



主な環境水質分析計



メタウォーター株式会社の水道用水質計を事業譲受

- ➡ 多様化するお客様のニーズにお応えすべく積極的な戦略
- ➡ 同社の技術の結晶である水道用水質計8機種が加わり
品揃え拡充

<概要>

事業譲受対象 : メタウォーター株式会社の水道用水質計

事業内容 : 水道用水質計8機種の製造・販売ならびに
保守・メンテナンス事業

事業譲受日 : 平成30年4月1日(予定)

<国内>医療関連機器の新生産棟稼働



🔍 透析用剤溶解装置*の生産拡大

*人工腎臓用粉末型透析用剤溶解装置

👉 10月から新生産棟が稼働し、大手医療機器メーカー向け増産が本格化



<医療関連機器生産棟概要>

建屋概要:

延床面積 約3,300m²
鉄骨造 地上4階建

主な用途:

生産ライン、試験評価設備、
クリーンルーム

<海外> 中国市場での事業展開①市況



中国では環境規制が厳格化

実効性を高める
ため罰則の強化

H25年・大気汚染防止行動計画(大気十条)

H26年・環境保護法の改正(H27年1月1日施行) ← 25年ぶりの改正

H27年・水質汚染防止行動計画(水十条)

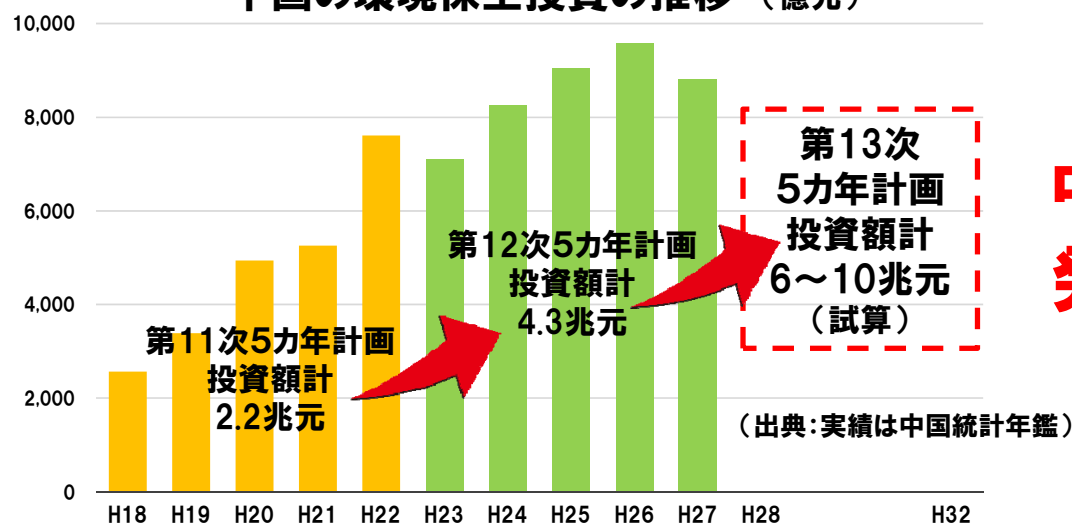
・大気汚染防止法の改正(H28年1月1日施行)

H28年・環境保護税導入(H30年1月1日施行)

H29年・水質汚染防止法の改正(H30年1月1日施行) ← 3度目の改正

規制の強化とともに、環境プロジェクトが急増中

中国の環境保全投資の推移 (億元)



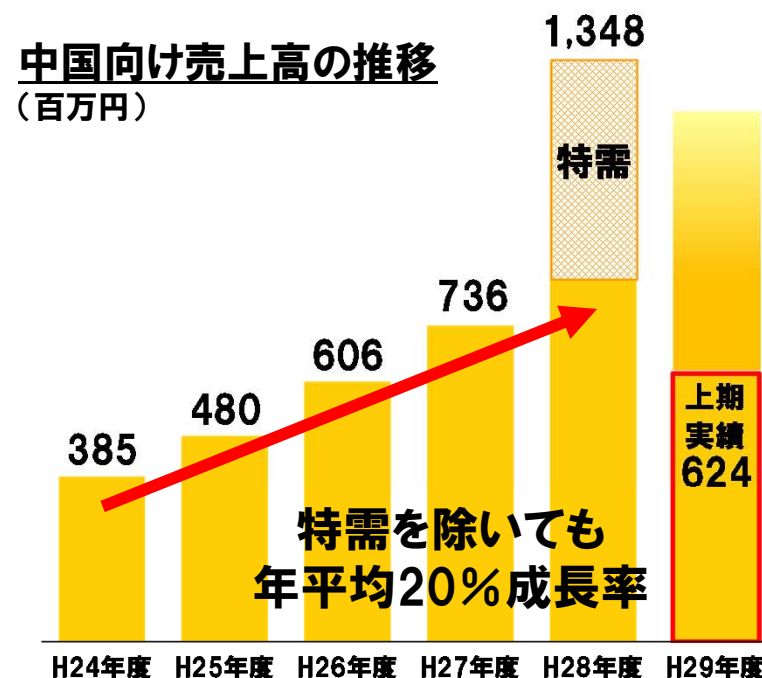
中国環境産業の
発展の黄金期へ

<海外> 中国市場での事業展開②取り組み



水

➡ HACH CHINAと共同で
PPP(民官連携事業)
案件顧客への積極的
アプローチを継続



大気

➡ 提携した中国2社(北京牡丹社、重慶SIC社)と
協業し、VOC*排出規制マーケットで受注活動中

*VOC (Volatile Organic Compounds) 揮発性有機化合物でPM2.5の生成物質

<海外> 国際市場におけるブランド力向上



● 海外代理店の拡充：今上期で2社と提携



インドAIC社



ベトナムGKFV社



● 海外技術研修生の受け入れ



アジア大気汚染研究
センター (ACAP)
「大気観測技術コース」

6カ国(韓国、タイ、
マレーシア、モンゴル、
ラオス、ロシア)から参加



JICA／北九州技術
協力会(KITA)
「水環境行政コース」

6カ国(アフガニスタン、
ウガンダ、エチオピア、
カンボジア、スリランカ、
ソマリア)から参加

上期成果

-  国内営業活動強化により売上回復
-  医療関連機器生産棟が竣工
-  海外代理店網の拡充、積極的な巡回技術サービスにより売上増進

下期重点施策

-  医療関連機器の増産体制確立
-  中国の排水規制市場での受注促進
-  譲受した水道用水質計の事業移転

ご清聴ありがとうございました。

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課
電話：03-3202-0242
メール：ir@toadkk.co.jp